

江南区自治協議会 令和2年度 第5回 まちづくり部会 会議概要

【開催概要】

- 名称：江南区自治協議会 令和2年度 第5回まちづくり部会
- 日時：令和2年10月22日（木）午後2時15分～午後3時40分
- 場所：江南区役所 301会議室
- 出席委員：坂井委員、畑野委員、田村委員、石崎委員、見田委員、塚原委員、豊岡委員、小林委員 以上8名(欠席：小野委員 以上1名)
- 事務局：建設課長、同課係長、産業振興課長補佐、地域総務課長補佐、同課係長 以上5名
- 傍聴0名

【審議内容等】

1. 都市計画マスタープランの改定に伴う区別構想の更新素案について

- ・事務局より、都市計画マスタープランの改定に伴う区別構想の更新素案が示され、その後意見交換を行った。次回の部会で修正案を事務局より再度お示しし、12月本会議で報告される。

<見直しの方向性>

- ・現在の区別構想の区づくりの方向性を維持しつつ、新たに「公共交通に対する意識の高まり」「防災・減災意識の高まり」の視点を盛り込む。

2. コロナ禍における自治協提案事業のあり方について

- ・前回の本会議で説明のあったコロナ禍における課題のうち、自治協提案事業のあり方について意見交換を行った。

<部会としての意見>

- ・自治協が主体となってイベント等を実施することは難しいことから、本来の目的を達成できる別な取り組みを各部会で検討し、実施する。
- ・各部会の取組内容によっては、自治協提案事業の各プロジェクトに割り当てられた予算を流用するなど、柔軟に対応してもよいのではないか。

3. その他

- ・前回の部会で検討した区バスや公用車等に貼り付ける親善大使のマグネットについて、次回までに見積書やデザイン案を事務局で準備することとした。

- ・区内の園児向けに作成したマスク貼付け用シールについて、11月上旬に開催される保育園の園長会で説明および配布を行う。併せて、11月の本会議において部会長より概要を説明する。
- ・カナリア号の特集が新潟日報に掲載された。一方で、新潟交通の路線バスが全路線で減便されるとの報道もあり、区内における減便の状況や、それを踏まえた今後の区内の公共交通について、部会として年間スケジュール等を作って検討することとした。次回部会において、事務局から路線バスの状況をお知らせする。

江南区自治協議会 令和2年度 第5回 安心安全部会 会議概要

【開催概要】

- 名称：江南区自治協議会 令和2年度 第5回安心安全部会
- 日時：令和2年10月22日（木）午後2時20分～午後3時30分
- 場所：江南区役所 3階 302会議室
- 出席委員：石井委員、阿部委員、石澤委員、今井委員、山本委員、櫻田委員、山崎委員、藤田委員、和澄委員、佐藤委員 以上10名
- 事務局：地域総務課副主査 以上1名
- 傍聴：0名

【審議内容等】

1 自治協会長会議で整理したコロナ禍における課題に関する情報共有について

安心安全部会の視点で意見をまとめた。

① 住民による避難所運営にあたっての課題など、コロナ禍における防災に関する課題

<主な意見>

- ・避難所での運営をスムーズに行うためには、日頃から、地域住民同士が集まり、顔の見える関係を構築しておくことが必要だが、30～40歳代の若い世代は行事などの参加が低い。さらにコロナ禍においては集まって行事などをやるのが難しい。
- ・自主防災組織が組織されていないことや自治会長が毎年変わることなどの理由から、自治会ごとに防災意識への温度差がある。
- ・自治会長がどんな取り組みをしたらよいかわからないといった声が聞かれる。・子育て世代の人たちが、子育ての支援をしたいと思っている個人の方も多くいるのでそういった人にも支援に参画してもらえるとよい。

② ①の課題に対し、改善または強化につながる取組みの可能性（自治協として取組みそうな点も含む。）

<主な意見>

- ・学校と地域と一体になって訓練の実施ができると若い世代とも顔の見える関係ができるのではないかと。江南区のあるコミ協と中学校では3年に1回、合同の訓練を開始したが、校長先生が変わると実施できなくなった経緯がある。地域との防災訓練がある場合は、市として学校にも協力するよう要請できないか。
- ・区が把握している各自主防災組織が開催する防災訓練情報（いつ、なにをやるかなど）を地域の防災士や自治会などにも共有することで、お互いの防災訓練などを見学に行くことができるようになり、防災士・自治会同士のつながりや訓練内容の勉強などができるのではないかと。

- ・区がモデルとなるような訓練を取り上げ、事例紹介することで、自主防災組織の立ち上げや活動内容の勉強につながるのではないか。
- ・区自治協では、訓練で活用できるパッククッキングのレシピや防災グッズの作成、区役所だよりへの防災 Q&A の掲載などで防災意識の啓発を図り、自主避難所などへの設備整備などを行ってきた。引き続き、区と連携し区全体の防災意識の向上に取り組んでいきたい。

⇒挙げた意見については、総務特別部会で共有し、報告する。

2 令和2年度の事業について

今年度安心安全部会で取り組む事業について、意見交換を行った。

<主な意見>

- ・安心安全の視察研修については、山古志のおらたるやそなえ館などを視察先として、雪の降る前に行った方がよい。
- ・高齢者はホームページや YouTube を操作することが難しいので、新潟市のホームページにある「体しゃっきり体操」を DVD 化して貸し出ししたりできないか。
- ・今後も増える「おうち時間」を親子ふれあいの時間としてもらうため、親子で楽しめる江南区親善大使のペーパークラフトや指人形を作ってはどうか。

江南区自治協議会

令和2年度 第5回 環境・教育部会 会議概要

【開催概要】

- 名称：江南区自治協議会 令和2年度 第5回環境・教育部会
- 日時：令和2年10月22日（木）午後2時10分～午後3時20分
- 場所：江南区役所 203会議室
- 出席委員：渡邊寿子委員、渡辺啓子委員、間島委員、上村委員、横木委員、湯田委員、中野委員 以上7名（欠席：小形委員、横田委員、高橋委員 以上3名）
- 事務局：区民生活課長、産業振興課長、江南区教育支援センター所長、亀田地区公民館長、亀田図書館長、地域総務課主査、同課副主査
- 傍聴0名

【審議内容等】

1 アンケートについて

<事務局より説明>

- ・区の現状や目指したい将来の姿を把握し、区や自治協議会の取り組み等として活用するため、区内の中学2年生、高校2年生を対象にアンケートを委託して実施してはどうか。調査方法は、GIGAスクールに合わせてWEBアンケートを検討している。

<主な意見>

- ・目的が何か決めないと、対象者が決まらないのではないか。
- ・区内の高校は、区外・市外の子も多い。地元の子のほうが地元への思いが強いから区内在住の子を対象とした方がいいのではないか。
- ・逆に、区外の子の意見も把握できると、区内の子の意見と比較できるので、いろんな見方ができるからよいのではないか。
- ・前回の「こども会議」では小学生を対象に実施してきたが、今回は対象を外すのか。
- ・小学生は事前学習をしたうえでアンケートをとった方がよい意見が出ると思うのが、短期間でアンケートを行うのであれば、小学生は対象から外してもいいと思う。
- ・紙ではなくWEBでのアンケートということは、学校の授業に組み込んでもらう必要があるのではないか。
- ・今年中学2年生を対象に実施し、来年以降対象を広げる、対象者を変えるなどして継続して実施してもいいのではないか。

<方向性>

- ・対象者は区内中学2年生全員とする。高校生は区内に立地する高校2年生とするが、実施できるかは、学校と相談の上決定する。
- ・中学校へは、GIGAスクール導入の練習材料としてのWEBアンケートを提案するが、紙での対応も可能とする。

⇒今後学校への協力依頼を行い、委託事業者を決定する。その後、11・12月の部会でアンケート調査項目等を検討し、2月上旬にはアンケートを実施する。

2 自治協会長会議で整理したコロナ禍における課題に関する情報共有について
事務局案をもとに修正・加筆を行った。

3 支えあいの絵本のぬりえについて

区内保育園・社協に配布したほか、データは区役所ホームページにも掲載している。
どんどん活用してほしい。

江南区自治協議会 令和2年度 第2回 総務特別部会 会議概要

開催概要

- 名称：江南区自治協議会 令和2年度 第2回総務特別部会
- 日時：令和2年11月6日（金）午後1時30分～午後3時
- 場所：江南区役所 203 会議室
- 出席委員：坂井委員、横木委員、山崎委員、中野委員、見田委員、小林委員
以上6名
- 事務局：同課係長、同課主査1名
- 傍聴0名

審議内容等

1 議事

(1) 自治協会長会議で整理したコロナ禍における課題について

これまで各部会で行われた意見交換を事務局でとりまとめた資料に基づき説明があり、その後、意見交換を行った。

【主な意見】

①自治協提案事業のあり方について

- ・リモート方式を検討するなど、自治協議会が考える在り方について記載した方がよい
- ・現実に即した形として開催する必要があるが、新しい課題として掲げ検討してはどうか。

②防災強化に向けた、課題や取組みについて

- ・避難や訓練だけでなく、避難所の運営に力点を置く必要があるのではないか。
- ・先進地への視察を行い自治協として何を検討すべきか検討してはどうか。

③会議の開催方法、それによる新たな体制・運営の確立について

- ・自治協議会は顔を合わせて実施することが原則ではないか。
- ・4、5月の自治協議会本会議は書面開催としたが、会議を途切れさせないよう環境を整える必要があるのではないか。

⇒特別部会の意見交換を基に資料を修正し、11月の自治協議会本会議で報告する。

(2) 江南区自治協議会委員の研修会について

安心安全部会より提案のあった中越大震災の被災地の視察等について資料に基づき説明し、その後、意見交換を行った。

【主な意見】

- ・全国的に災害が頻発していることから、被災地を視察することで自治協の取り組みに生かせるのではないか。

⇒江南区自治協議会委員研修会として実施し、各委員との日程調整などを実施することとした。